

群会議の話題

2021年
12月17日
489号

東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
電話042(324)5940

部内資料

コロナによる倒産・不払い増加

建設業の倒産が増加

飲食店工事需要冷え込みが影響

建設業は、飲食店を追うようにコロナ倒産が増えています。2020年10月末までのコロナ倒産の累計は43件で、アパレル小売(41件)と同水準でしたが、半年後の21年5月末時点では、アパレル小売の約2倍の130件に膨らんでいます。コロナ倒産の大半を占めているのが、内装工事や電気工事を手掛ける中小・零細規模の建設会社です。店舗や施設の定期的な新設・改修需要を見込める飲食店やホテル・旅館、アパレル小売りの業績不振に伴い、連動して経営が悪化していると見られています。

倒産の影響は支部の仲間にも

一人親方として働いている仲間2人から、それぞれの上位会社が倒産し不払いにあつていると相談が寄せられました。話を伺うと「1日〇〇円」と「手間請けでやっていた」と労働者が強い働き方でした。上位会社の破産で工事代金が未払いの場合、回収できる可能性はかなり低くなります。しかし、一人親方として働いていても「労働者」と認められた場合は「未払賃金」として、国の「未払賃金の立替

払制度」を利用し最大で80%(上限あり)の「未払賃金」分を回収できる可能性があります。

現在2人の仲間は、それぞれ労働基準監督署と破産管財人に対し「労働者を認めるよう」要請中です。

万が一「不払い」にあつたら組合へ早めの相談を。

東京土建は国民生活優先、社会保障拡充を求めます

自民・公明両党は、選挙演説においてコロナ対策の成果を主張し、とりわけ感染者数が劇的に減少している状況を背景に、「ようやく安心安全の街の賑わいが戻ってくる」と強調しました。しかし感染爆発と医療崩壊を招き、国民の命を犠牲かつ危険にさらした反省こそ、今後のコロナ対策に活かすべきです。これまで私たちが要求してきた自衛要請と補償をセットにしたコロナ対策や、国民的課題として医療機関への減収補填や病床確保、そして消費税減税など、いずれも政府は「自己責任論」をもって国民の声に背を向けてきました。東京土建はこれまでの反省に立った国民生活優先と憲法で保障された社会保障拡充と平和主義に基づく政策を求めます。

「仲間の声で現場を変えよう」

仲間から寄せられた現場情報です。該当する仲間は組合へお知らせください。

①昭島市にある大成建設元請・栗田工業開発センター建設現場において、9月10日頃労災事故があり、現場稼働が数日停止したことについて、急な休工で他の現場に行くこともできず、職人に支払う賃金がそのまま持ち出しになってしまい困っているとの声が寄せられました。企業交渉で大成建設を追及したところ、先日から大成から回答があり、休工・待機分の賃金について補償をするとの回答がありました。

②麻布台再開発現場の清水建設工区に従事する仲間から、CCUSカードタッチを禁じられているという情報が寄せられ、現在確認中です。

③清水建設元請の新宿ミラノ座跡地再開発現場に従事する方より、上位業者からコロナワクチン接種を強制され、「接種しないと現場に入場できなくなる」と言われた、との情報が寄せられました。清水建設に確認したところ、「強制はしていない。1次協力業者にも強制しないよう徹底した」との回答がありました。

12月にすすめる組合運動

①秋の仲間ふやし月間を力に支部の年間実増を目指します。②CCUS登録や石綿調査者講習をすすめます。③地域の共闘団体と共同し社会保障制度拡充、インボイス制度中止、憲法と平和を守るため地域との共同、学習など運動をすすめます。

コロナ給付相談日程 まずは組合へ相談を

それぞれの給付金申請は締切厳守です。国と東京都の支援金は申請月により締切が変わっています。申請日を過ぎた場合は一切受付を行いません。可能性がある方は早めに確認し、わからない場合は組合へご相談ください。

組合で一緒に「書類作り」と「データ入力」の相談会(電話予約を)

【とき】12月20、23日(火、木)

2022年1月11、21日(火、金)

【時間】午後5時～8時

【会場】支部事務所

【国】の月次支援金の締切

10月分は1月7日締切

*9月分までは受付終了です。

【東京都】の月次支援金

7・8月分は1月14日締切、9月分は1月末、10月分は2月末

の締切

【国分寺市】の国分寺市経営
持続支援金

【条件】4、5、6月のいずれかで東京都の月次支援金を受給していること、市内業者限定

【給付】1事業者10万円

【締切】3月10日

【予定ですが、
「事業復活支援金」

新たな制度の「事業復活支援金」がスタート予定です。申請が開始された場合、右記日程と合わせ相談対応します。



【2021年12月17日～1月16日】

12/17	金	群会議
18	土	
19	日	分会財政
20	月	支援金相談会
21	火	住宅センター施工者会議 国分寺社保協
22	水	社労士相談会 書記長会議 厚文
23	木	法律相談会 支援金相談会
24	金	年末調整相談会
25	土	まちかど相談会フードバンク
26	日	
27	月	年末調整相談会
28	火	仕事納め(午後より事務所閉めます)
29	水	
30	木	
31	金	
1/1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	仕事始め 書記局会議(事務所閉めます)
6	木	常任執行委員会 年末調整相談会
7	金	執行委員会 年末調整相談会
8	土	
9	日	
10	月	分会四役
11	火	財政 教宣 年末調整相談会 支援金相談会
12	水	支部旗開き(新春学習会)
13	木	分会執行
14	金	
15	土	
16	日	

【職業病対策】毎月最終火曜日は
立川相互ふれあいクリニック【要予約】
12月21日(火)(13時半～14時半)
【緊急事故連絡先】
火災(労働共済) 03-3366-7908
自動車(関自共) 0120-89-8819



② 感染症手当金の適用期間延長
国が「新型コロナウイルス感染症手当金」制度の財政支援の適用期間を延長し



女性の会
☆お茶会のお誘い☆
ざっくばらんな話、日ごろの不満など何でも話せる楽しいお茶会を行います。申込は支部まで。
【とき】12月22日(水)
午後1時30分～
【会場】支部3階【会費】200円
☆大人気ワカメ販売☆
岩手県大船渡直送のワカメと昆布、チョコレートを支部事務所で販売中。
【ワカメ】350gで500円
【昆布】500gで500円
【チョコ】1袋630円

中小企業診断士と日程調整
経営相談 組合事務所
12月22日(水) 13時半～
社労士相談 組合事務所
12月23日(木) 13時半～
法律相談 組合事務所
12月23日(木) 13時半～
【専門家の無料相談会】
すべて事前予約が必要
【書記局会議】1月5日(水)
(年末年始) 12月28日(火)
(1月4日(火))

① 年末年始の手続き
年末の国保に関する手続きは12月21日までのものを年内処理とします。それ以降のものについては、年明け後の処理となりますのでご注意ください。
【会場】杉並支部会館
【とき】2月28日、3月1日
【土建国保関連】
東京土建独自の石綿調査者講習が始まりました。この講習は①受講資格が必要、②2日間講習で2日目に試験ありと難易度が大会講習になっています。

インフル接種の補助金
インフルエンザワクチンを接種した土建国保利用者(家族含む)と75歳以上組合員に2000円の補助金があります。申請を。
コーナンプロとの提携
コーナンプロとの提携が、PROドイト、コーナシ、PRO、コーナシ、WORK&TOOL全店舗に拡大(12月1日から)。
CCUSの登録を
今なら補助金4900円
CCUS(キャリアアップ)技能者登録について、12月までの技能者登録なら登録料4900円の「キャッシュバック」キャンペーン。
専門工事業の標準見積書
各専門工事業団体が作成した標準見積書を支部に用意しました。活用を。

どけんの火災・地震共済
仲間の助け合いとして組合独自で行なっている火災・地震共済。掛金も魅力の1つです。火災は家財だけでなくOK。まず見積りを。
【とりくみ案内】
まちかど相談会フードバンク
12月25日(土)
正午から14時、武蔵小金井駅南口交番裏
事務所閉所
(年末年始) 12月28日(火)
(1月4日(火))

石綿裁判勝利

給付金案内は順次発送

「特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の給付に関する法律」は、来春(4月)からと予定されていますが、12月臨時国会で補正予算が成立すれば前倒しになるとも言われています。厚生労働省労働基準局は、過去に石綿関連疾病による労災給付金を受給している対象者等に対し、給付金等請求に関する案内文を順次発送としています。

未提訴の仲間の申請も組合で行ないます

組合と運動を続けてきた専門医からは、「最高裁判決が確定し患者数や問い合わせが激増している」また「フリーライダー法律事務所が『専門医を受診して来い』と案内しているようだ」と報告があり、職歴調査や労災申請など何も行っていないようです。すでに一部のフリーライダー弁護士事務所は訴訟だけでなく、給付金制度の申請についても受け付けることを様々なメディアを使いアナウンスしています。給付金からも報酬(16.5%)を得ようとするフリーライダー弁護士事務所もあるといわれています。

申請方法の公表しだい支部で説明会を開催します。仲間を守るためにも「申請手続き(未提訴含め)は東京土建へ」を徹底します。

【フリーライダーとは?】自分は何も貢献せず、他のメンバーに貢献させておいて、得られた付加価値の恩恵にあずかる人、集団の利益に“タダ乗り”する人という意味。

